

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	理学療法概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネーター2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
医療、リハビリテーションと理学療法の関係について倫理・哲学、歴史、法規・制度などより理学療法の概念を理解する。講義形式とともにグループワーク形式により多くのディスカッションを通して多くの意見を出し、聞くことで「理学療法」を提供する者としての理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記テストを100%として評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
15レクチャーシリーズ 理学療法概論						
《授業外における学習方法》						
教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
課題の提出期限を厳守する事。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションと理学療法の役割が説明できるようになる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法概要、リハビリテーションと理学療法の役割			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の分類や保険制度が説明できるようになる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法背景1 障害、分類、保険制度			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法に関する歴史・法律・倫理について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法背景2 歴史・法律、倫理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法の構成が説明できるようになる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法の構成			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法士に必要な知識と実習について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	理学療法士に必要な知識と実習			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法の主対象1 中枢神経系の理学療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法の主対象2 運動器系の理学療法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部障害系の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法の主対象3 内部障害系の理学療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	がん・介護予防の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法の主対象4 がん、介護予防の理学療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法1 急性期		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	回復期の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法2 回復期		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	維持期の理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法3 維持期		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅における理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法4 在宅		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	行政における理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法5 行政		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究における理学療法について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	病期・職域別理学療法6 研究		